「求職者専門相談員」（表面）

応募者氏名

【次の質問に、お答えください。】

【回答欄が不足する場合は、枠欄を適宜拡大して構いませんが、できる限りA４両面にまとめてください。】

１　（保持資格等一覧）（知識・実務経験等一覧）の中から、該当するものがあれば、該当番号をすべて記入してください。

また、当該資格や知識・経験等を生かした業務経験の詳細を教えてください。

|  |  |
| --- | --- |
| （該当番号） | （業務経験の詳細） |

２　あなたが今回の求人職種に採用された場合、「支援をしたい」と考えている対象者を、以下の一覧の中から、該当番号に〇を付してください（複数回答可）。

また、選択した対象者に対して、取り組んでみたい支援内容を具体的に記入してください。

|  |
| --- |
| 【対象者】　①生活保護受給者・児童扶養手当受給者等　　　②刑務所出所者等　　　③雇用保険受給資格者  ④若年者・フリーター　　　⑤留学生　　　⑥子育て中の就職希望者　　　⑦介護離職者　　　⑧ひとり親の求職者  ⑨医療・福祉分野の就職希望者　　　⑩建設・警備・運輸分野の就職希望者　　　⑪障害者　　　⑫訓練希望者  ⑬がん疾患等長期療養者　　　⑭高年齢求職者　　　⑮就職氷河期世代　　　⑯その他（　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （支援内容） |

（保持資格等一覧）

①　キャリアコンサルティング技能士（１級又は２級）、キャリアコンサルタント国家資格、産業カウンセラーのいずれか。

②　臨床心理士、公認心理師、精神保健福祉士、理学療法士、作業療法士、手話通訳者のいずれか。

③　介護福祉士、看護師、保育士、ほか医療・社会福祉分野の資格。

④　社会保険労務士、社会福祉士のいずれか。

（知識・実務経験等一覧）

⑤ 企業（事業所）の人事労務管理に関する知識・実務経験を有する。

⑥ 職業相談・職業紹介に関する知識・実務経験がある。

⑦ 職業安定行政施策または矯正・更生保護行政施策に関する知識がある。

⑧　若者の採用・就職活動支援等に関し、実務経験がある。

⑨ 介護福祉士、看護師、保育士等医療・福祉分野の資格を持ち、かつ１年以上の実務経験がある。

⑩　医療・福祉分野の企業（事業所）における人事労務管理の知識・実務経験がある。

⑪　建設・警備・運輸分野に関する資格を持ち、かつ１年以上の実務経験がある。

⑫　建設・警備・運輸分野の企業（事業所）における人事労務管理の知識・実務経験がある。

⑬　障害者雇用に関する専門的知識を持ち、かつ相談員支援業務に３年以上従事した実務経験がある。

⑭　職業能力開発、職業相談・職業紹介に３年以上従事した実務経験がある。

⑮　医療・社会福祉分野における実務経験がある。

⑯　地域の労働市場の状況や産業界の動向等に関する知識がある。

⑰　年金等の社会保障制度に関する知識・実務経験がある。

【裏面は、記入できる方のみ（記入できる箇所のみ）記入をお願いします。】

「求職者専門相談員」（裏面）

３　勤務している（いた）部署、期間、職種、主に支援している（いた）対象者又は事業主を記入してください。（複数ある場合は、一番長く勤務していた時のものを記入してください。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| （例：〇〇安定所）  （例：〇〇株式会社） | （例：令和〇年〇月～現在） | （例：求職者専門相談員）  （例：キャリアカウンセラー） | （例：若年者・フリーター）  （例：シニア世代） |

４－１　上記３の期間中、担当する業務を進めていく中で、具体的な（個人又は組織の）目標がありましたか。また、当該目標を達成するために、自ら能動的（積極的）に取り組んだ内容について記入してください。

（目標がなかった場合は、目標なしと記入した上で自ら能動的（積極的）に取り組んだ内容について記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

４－２　（続き）

自ら能動的（積極的）に取り組んだことで、どんな結果・成果がありましたか。また、どんな課題点があると考えましたか。課題点に対して改善すべき部分や取り組むべき部分等も含めて、具体的に記入してください。

|  |
| --- |
|  |

５　上記４の内容を踏まえ、あなたが採用された場合、「新たに挑戦してみたいこと」「特に力を入れて取り組んでみたいこと」「業務改善をして取り組んでみたいこと」等があれば、具体的に教えてください。（表面２の回答以外で）

|  |
| --- |
|  |